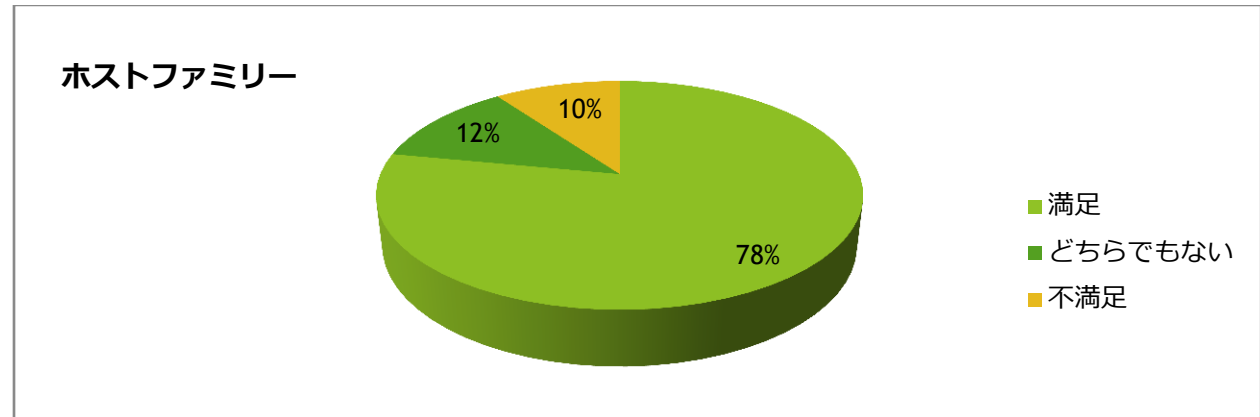


AFS プログラム参加者の総合評価（2014 年～2015 年）

AFS ではプログラムの円滑な遂行のため、終了後にアンケートを実施しています。一部を抜粋してご紹介します。

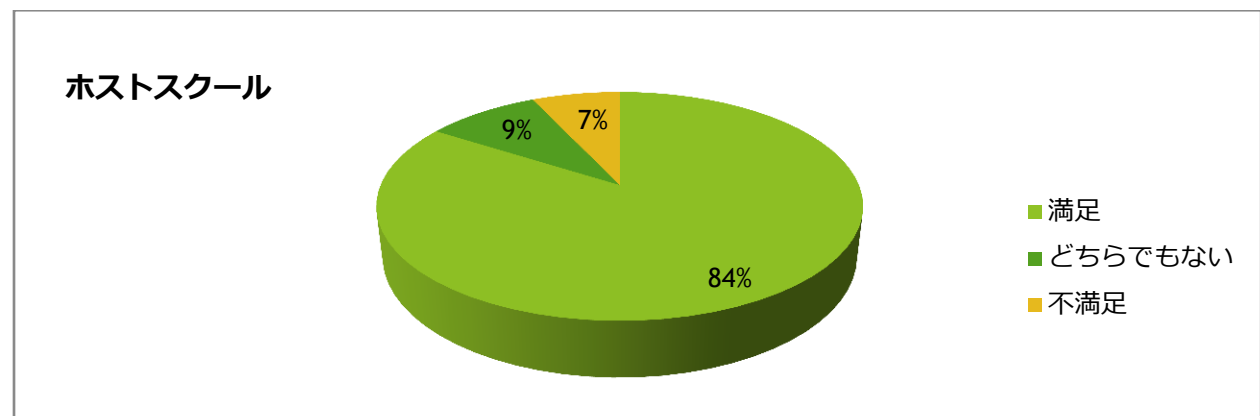
受入プログラム

1) 体験の充実度・満足度



評価に影響を与えた主な事柄（回答者コメントより）

- **生徒の資質**（やさしい、努力家、日本への理解、滞在中の成長、地域行事への積極的な参加 等）
- **家族内の変化**（会話が増えた、異文化を学んだ、日本の良さを見直した、コミュニティの協力体制が強まり友人が増えた、本国家族とも交流できた、家族とは何かを考えた、外国人に抵抗がなくなった、子どもが留学する気になった、10 代に対する理解が深まった 等）
- **AFS 支部の支援**（良いタイミングで連絡、親身になって話を聞いてくれた 等）

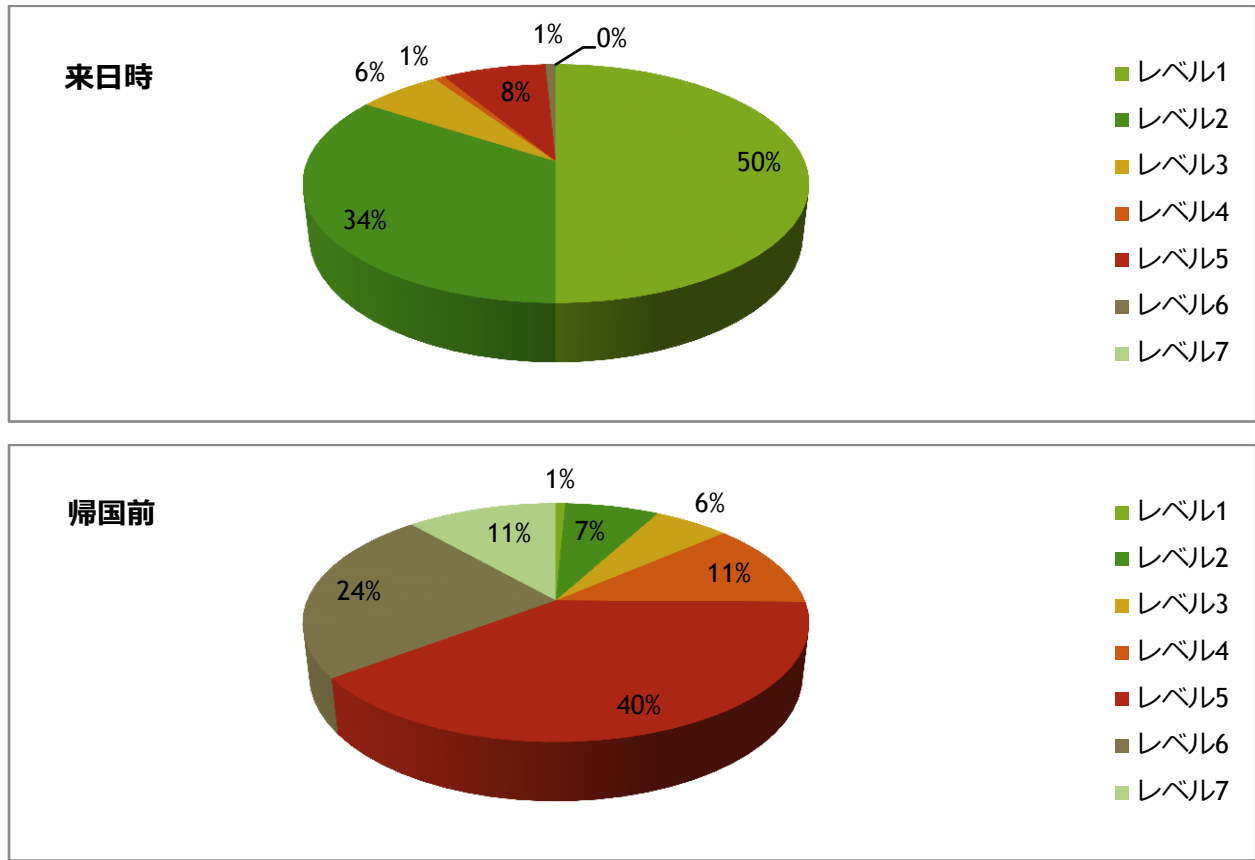


評価に影響を与えた主な事柄（回答者コメントより）

- **生徒の資質**（明るくまじめ、努力家、日本への興味・愛着、滞在中の成長、部活や行事に積極的に参加する姿勢、英語圏以外の生徒であった 等）

- **在校生・教員との関係、校内の変化**（日本語習得力が高く在校生への刺激になった、クラスの雰囲気が変わった、留学を希望する生徒がでた、長期間だったため互いに深く学び合った、英語以外の言語にも理解が深まった、等）
- **AFS 支部の支援**（支部・LP のサポートが良い、日本語指導、けがや病気・緊急時の対応が良かった 等）

2) 留学生の日本語能力

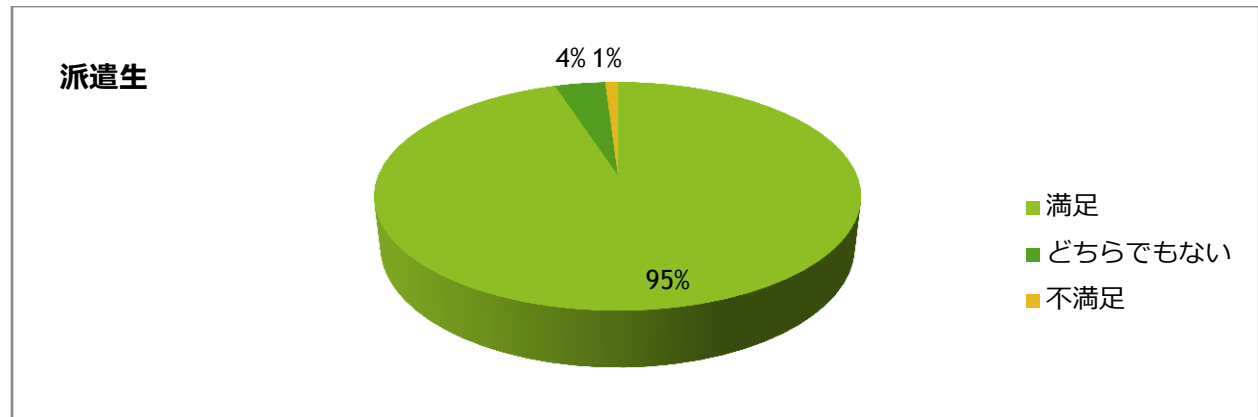


受入生の日本語上達度

- レベル 1. 挨拶の言葉など 2、3 の暗記した表現は口にしますが、日本語は全く理解できない。
- レベル 2. 学校内の日常的な範囲のことであれば聞いて理解でき、少しの受け答えができる。
- レベル 3. 学校内の日常的な用事はほとんど日本語で用が足り、少しぎこちないが受け答えができる。
- レベル 4. 学校生活に必要な話題について、会話に少し参加できる。
- レベル 5. 授業の理解はまだ難しいが、日常生活には不自由しない。
- レベル 6. 相手によって適切な話し方ができ、授業もどうにか理解できる。
- レベル 7. 時事問題などについても意見を述べることができる。

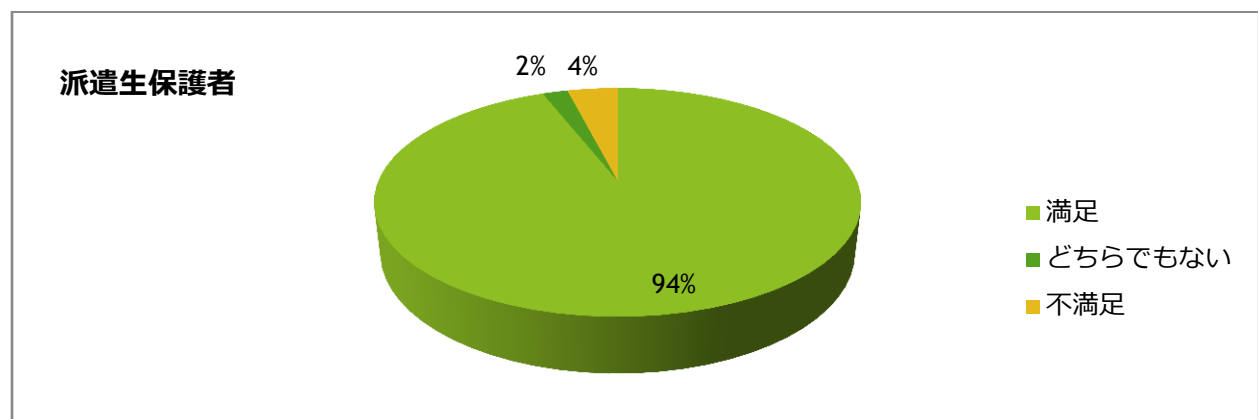
派遣プログラム

1) 体験の充実度・満足度



評価に影響を与えた主な事柄（回答者コメントより）

- **配属先**（ホストファミリーやホストスクールとの相性がよかった、帰国後も良好な関係が続いている、世界中に友達ができ、ほかに日本人がいなかった、支部活動が充実していた 等）
- **自己成長**（自分を見つめるいい機会になった、独立精神をもてた、自信がついた、視野が広がった、日本文化を発見した、語学の上達、家族の価値がわかった、誰もできない体験ができた 等）
- **オリエンテーション・サポート**（安全対策、病気など緊急時に素早く対応してくれた、一人ひとりにコンタクトパーソンがいる、各国の留学生と交流でき学び合えた、オリエンテーションが充実しており留学生としての自覚をもって生活できた、ボランティアに支えられている、個人留学と異なり仲間がいる 等）



評価に影響を与えた主な事柄（回答者コメントより）

- **配属先**（ホストファミリーとの相性が良かった、留学先が豊富、親身になってくれた、ほかに日本人がいなかった 等）
- **オリエンテーション・サポート**（国際的なネットワークがあり支援体制がしっかりしている、事前準備から滞在中までサポートがよかった、対応が迅速で丁寧、LP（留学生担当ボランティア）など相談できる人が決まっている、安全面への配慮、支部の行事が豊富だった、ボランティアがサポートする体制、適度に情報提供があり過干渉が避けられた、手をかけすぎず

見守ってもらえた 等)

■**子どもの成長**（語学の習得、自分の力で進んでいかなくちゃいけないことがわかり大学受験にも前向きになった、家族の良さを認識してくれた、明るくなった、自分で決断して行動できるようになった、親子で世界を考えることができた、世界情勢を身近に感じるようになった、家族に対して優しくなった 等)

アンケート実施対象：

2014～2015 年間・セメスター生のホストファミリー（回答率 75%）

2014～2015 年間・セメスター生のホストスクール（回答率 72%）

2014～2015 61 期帰国生（回答率 43%）

2014～2015 61 期帰国生保護者（回答率 43%）